



大 阪 市
空家活用(好)事例集

平成 28 年 1 月

大 阪 市

住宅・土地統計調査によると、平成25年の大阪市内の住宅の空家率は17.2%であり、全国平均13.5%と比べて高くなっています。

空家が増加することにより、地域コミュニティの衰退やまちの魅力の低下が進行するなど、地域に影響を及ぼす恐れがあります。本格的な人口減少社会を迎えるなか、活用可能な空家については、住宅としての活用はもとより、他の用途も含めて様々な形で活用することが望まれます。

本市においても、阿倍野区昭和町や中央区空堀商店街周辺などでは、長屋や戸建住宅等の空家を福祉施設や店舗等に用途転用するなど、既存ストックを活かした取組が行われています。

このたび、こうした空家等の活用事例について、本市で建物所有者や事業者の方々にヒアリング調査を行い、事例集を作成しました。空家の所有者や活用を検討されている方は、是非、ご覧ください。

※一定の基準に該当する用途変更を行う場合には、建築基準法や消防法等に基づき、用途によって守らなければならない規定がありますのでご注意ください。

目次

1. 空家活用事例1：エフ・エーサロン	1
2. 空家活用事例2：よってこサロン（はなまるデイサービス）	2
3. 空家活用事例3：惣、練、萌	3
4. 空家活用事例4：NPO 法人榎本地域活動協議会	4
5. 空家活用事例5：デイサービス生活屋・みつやサロンおいで屋	5
6. 空家活用事例6：昭和町おうちカフェきっちん	6
7. 空家活用事例7：アトリエコーナス	7
8. 空家活用事例8：ゲストハウス おどり	8